

| | | | | |
|--|----|----------|-----|-----|
| 校種・教科名 | 家庭 | 家庭総合（2年） | 単位数 | 2単位 |
| 学習到達目標 | | | | |
| <p>1. 人の一生と家族・福祉・衣食住・消費生活などについて学ぶ中で、基礎的・基本的な知識・技術を習得する。</p> <p>2. 生活の中で課題を見出し、それを解決するための手だてを考えるとともに、次のステップの実践へとつなげていく。</p> <p>3. 自分らしい生活観・価値観を創造していく中で、自分の個性に合ったライフスタイルを築いていく。</p> <p>4. 多様化する現代社会において、男女がともに主体的に生活を営み、家庭生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育成する。</p> | | | | |

| 学 習 内 容 | 学期 | 時数 | 学 習 の ね ら い |
|---|--|---|---|
| ※家庭総合を学ぶにあたって (オリエンテーション) | | 2 | ・家庭総合を学ぶ意義と内容を知る。 |
| 1章 これからの生き方と家族 1. 自分らしい人生とは 2. 家族・家庭の働き 3. ワーク・ライフ・バランス | 一 | 12 (4) (4) (4) | ・自分らしく生きるためには、自分の価値観に基づいて生活設計を考えて見ることの重要性を理解する。 ・家族とはどのような存在であるか。家族の基礎的役割とその重要性について理解し、これからの家族家庭のあり方を考える。 ・個人、家族を社会がささえるシステムの重要性を理解する |
| 5章 経済生活を営む 1. 家庭生活と社会とのかかわりを知る 2. 消費者の権利と責任 3. 契約トラブルとその対策 4. 消費者の自立と行政の支援 5. 消費生活と環境問題 | 学 期 | 10 (2) (5) (3) | ・各自が消費者であるという自覚を持ち、意思決定を含む生活力を身につける。 ・家族は経済計画を立てて家計管理をすることの重要性を理解する。 ・生活情報の収集には様々な方法があり、有用な情報を取捨選択して収集、活用していくことが重要な事を理解させる。 ・契約・多様な販売方法や支払い方法・問題商法について理解し被害にあった場合の解決方法も理解する。 ・消費者信用について理解し、利用に際しては、慎重に行う意識と対応策を身につける。 ・循環型社会を実現していくためには、私たち自身が消費行動について考え、環境に負荷を与えないように工夫していく必要性を理解する。 ・各自の消費行動と環境問題や資源・エネルギー問題との関連について理解する。 |
| 10章 生活の充実・向上をめざして 1. ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動 2. ホームプロジェクトの実践 | | 2 (1) (1) | ・ホームプロジェクトと学校家庭クラブの意義、進め方を知る。 ・授業で得た知識・技術を駆使して、問題解決のための実践力を身につける。 |
| 7章 装う 1. 人と被服 2. 日本の異文化 3. 多様な被服 | 二 学 期 | 28 (3) (3) | ・なぜ被服を着用するようになったかを考える。 ・被服のもつ保健衛生的な機能や社会的・文化的な機能を生かし、望ましい着装について考える。 ・繊維の種類と特徴、着心地に影響する布の保健衛生的性能について理解する。 |

| | | | |
|---|----------------------|---|--|
| <p>4. 被服の選び方・着方</p> <p>5. 被服の製作過程と採寸</p> <p>6. 被服製作</p> <p>7章 住まう</p> <p>1. 気候・風土と住まい</p> <p>2. 平面図の活用</p> | <p>二 学 期</p> | <p>(4)</p> <p>(18)</p> <p>8</p> <p>(3)</p> <p>(5)</p> | <p>・取り扱い絵表示の種類と意味、サイズ表示の見方について理解し、購入の際に着心地、動きやすさ、縫製の善し悪し等を調べることの重要性を知る。</p> <p>・被服製作に必要な基礎的な知識・技術を身につける。被服製作により平面から立体への構成変化を理解する。いろいろな人の立場に立って衣生活を考える事ができるようにする。</p> <p>・基礎縫い・トートバッグの制作を通して基礎的技術を習得する。</p> <p>・住まいは条件の異なる地域の気候や風土に応じて作れることを理解する。</p> <p>・自分のライフスタイルにあった住まいの条件を考える。家族の生活行為と住空間とのかかわり、動作に必要な広さ、動線などについて理解する。</p> |
| <p>3. 住まいの安心・安全</p> <p>4. 地球環境に配慮した住生活</p> <p>まとめ</p> | <p>三 学 期</p> | <p>(3)</p> <p>(3)</p> <p>2</p> | <p>・住環境が健康な生活に大きな影響を与えることを理解し、衛生的な室内環境や家庭内事故を防止するための安全対策の必要性を考える。</p> <p>・多様な生き方・価値観を反映した様々な住まい方や自然環境や社会環境と住生活の関連について調べ、今後の住生活のあり方について考える。</p> <p>・今年度のまとめと来年度にむけて</p> |

使用教材等

教科書・・・第一学習社「高等学校 家庭総合」

副読本・・・第一学習社「最新生活ハンドブック 資料&成分表」

| | | |
|---------------------------------|----------------------|---|
| <p>各学期の テスト・課題 ・提出物</p> | <p>1 学 期</p> | <p>テスト・・・60%</p> <hr/> <p>課題・提出物・授業（実習）態度・・・40%</p> |
| | <p>2 学 期</p> | <p>テスト・・・60%</p> <hr/> <p>課題・提出物・授業（実習）態度・・・40%</p> |
| | <p>3 学 期</p> | <p>テスト・・・70%</p> <hr/> <p>課題・提出物・授業態度・・・30%</p> |

留意事項

- ・新学習指導要領に向けて、消費者教育の分野を2学年で履修させる。
- ・被服製作作品の点数は定期考査にほぼ近い比重でみる。
- ・家族に関する内容においては、個人的なことに深入りしない。
- ・夏休みの課題として、ホームプロジェクトへの取り組みをさせる。
- ・ファイルは提出状況と記入内容に重点を置いて評価する。